

【証券コード:6728】

第3四半期 決算説明資料(連結) (2011年6月期)

2011年5月12日

株式会社 アルバック

◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ(FPD)・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆ 本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現

3Q(累計)：第3四半期連結累計期間

3Q：第3四半期連結会計期間

注)2010年6月期よりセグメント及び品目の名称が変更されています。

2011/6期 3Qの状況

事業環境

- ・円高の状況が継続。中東情勢が不安定、原油高騰。
- ・東日本大震災の発生

ポジティブ要因

- ▶スマートフォン、タブレットPC関連ビジネスが好調
 - ◆低温ポリシリコン、有機EL、タッチパネル、メモリなど装置の引合・受注が拡大
- ▶エネルギー・環境関連ビジネスが堅調
 - ◆LED(一般照明、バックライト等)、パワー半導体、IGBTなど
 - ◆結晶系太陽電池など
 - ◆EV用急速充電器ビジネス

ネガティブ要因

- ▶液晶TVの販売不振で各社減産
 - ◆マテリアル事業(スパッタターゲット)が減収
 - ◆中国などの大型液晶ラインの増設計画の延期相次ぐ

東日本大震災の影響

- ▶特別損失を36億29百万計上
 - ◆青森県八戸工場にて出荷準備中の装置やたな卸し資産が津波被害で滅失
 - ◆八戸工場、筑波超材料研究所等の建屋修繕費 など

2011/6期 3Q(累計)業績

受注高は、韓国、台湾向け有機EL製造装置が寄与。
 売上高は、FPD製造装置、PV、半導体などが減少。コンポーネントは堅調。(2Q比)
 業績は、パネルメーカー減産の影響でマテリアルが苦戦。
 東日本大震災により、たな卸し資産が津波で被災。特別損失を36億29百万円計上。

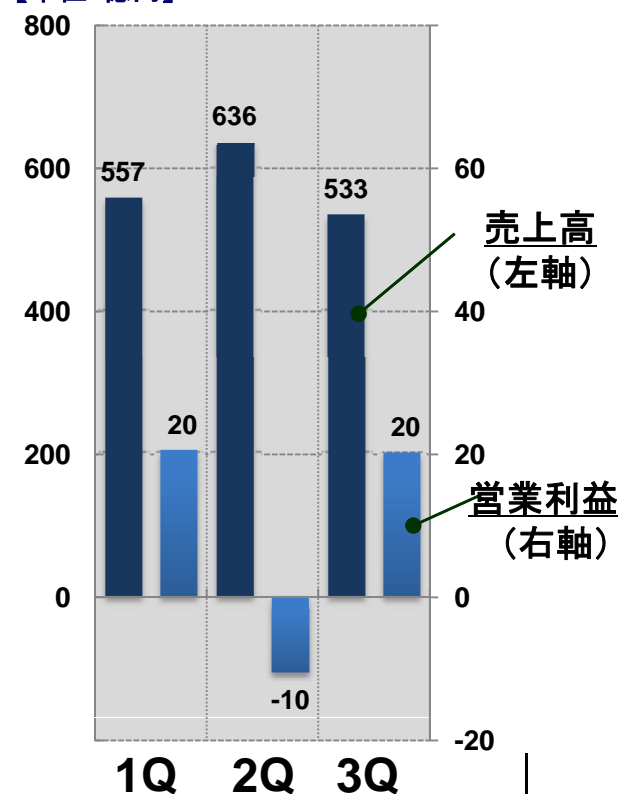
【単位：億円】

	2Q (累計)			3Q (累計)		2010/6期 3Q(累計)	前年同期比 (増減率)
	1Q	2Q	3Q	3Q	3Q(累計)		
受注高	604	419	1,023	518	1,541	1,766	-13%
受注残高	1,131	—	910	—	903	1,357	—
売上高	557	636	1,194	533	1,727	1,504	+15%
売上総利益率	20.4%	20.7%	20.5%	21.5%	20.8%	17.9%	+34%
営業利益率	3.7%	-1.6%	0.8%	3.8%	1.7%	0.2%	+965%
経常利益率	3.4%	-1.7%	0.7%	3.3%	1.5%	0.4%	+284%
四半期純利益率	2.2%	-3.3%	-0.7%	-0.7%	-0.7%	0.8%	—

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

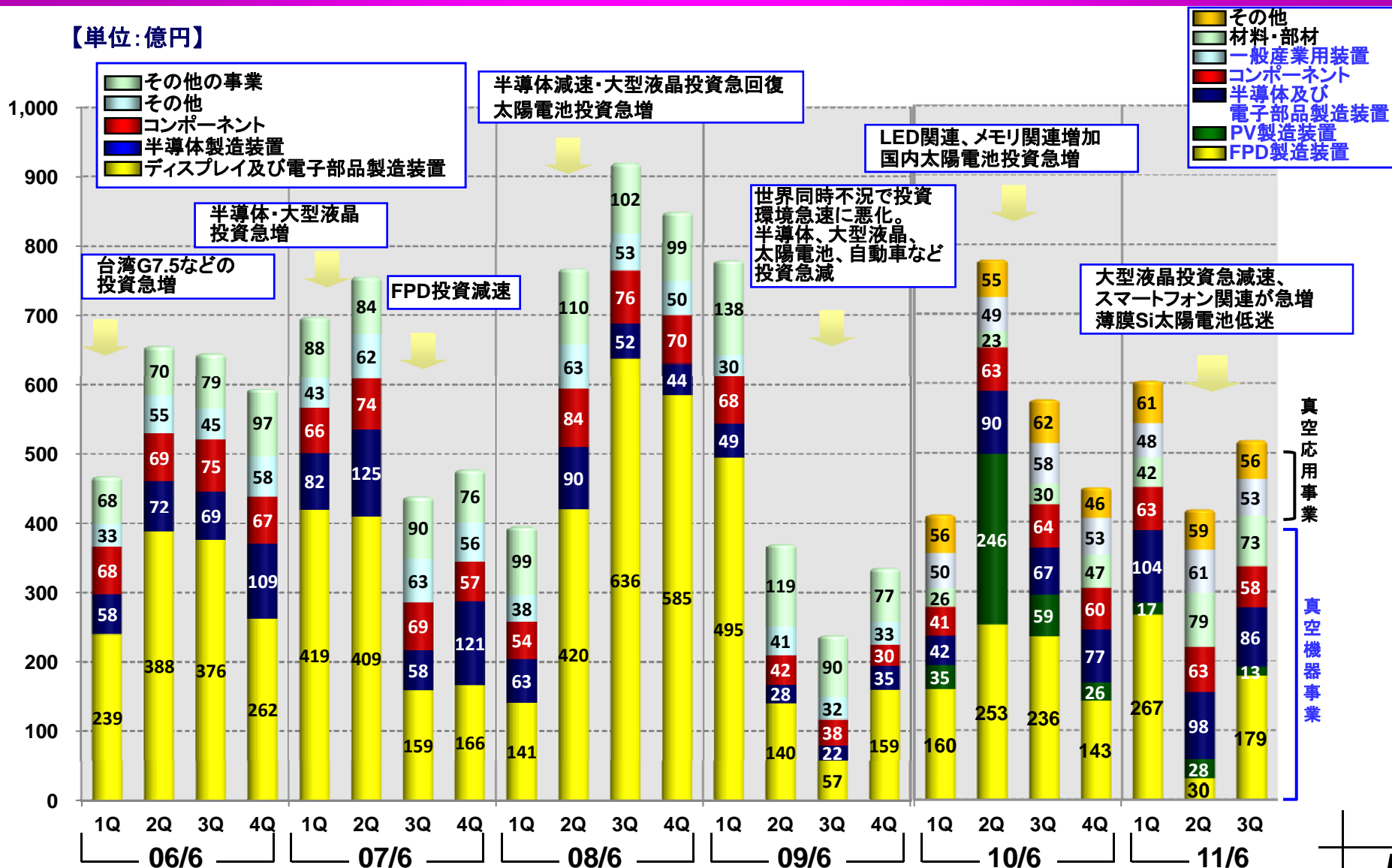
売上高と営業利益の推移

【単位：億円】



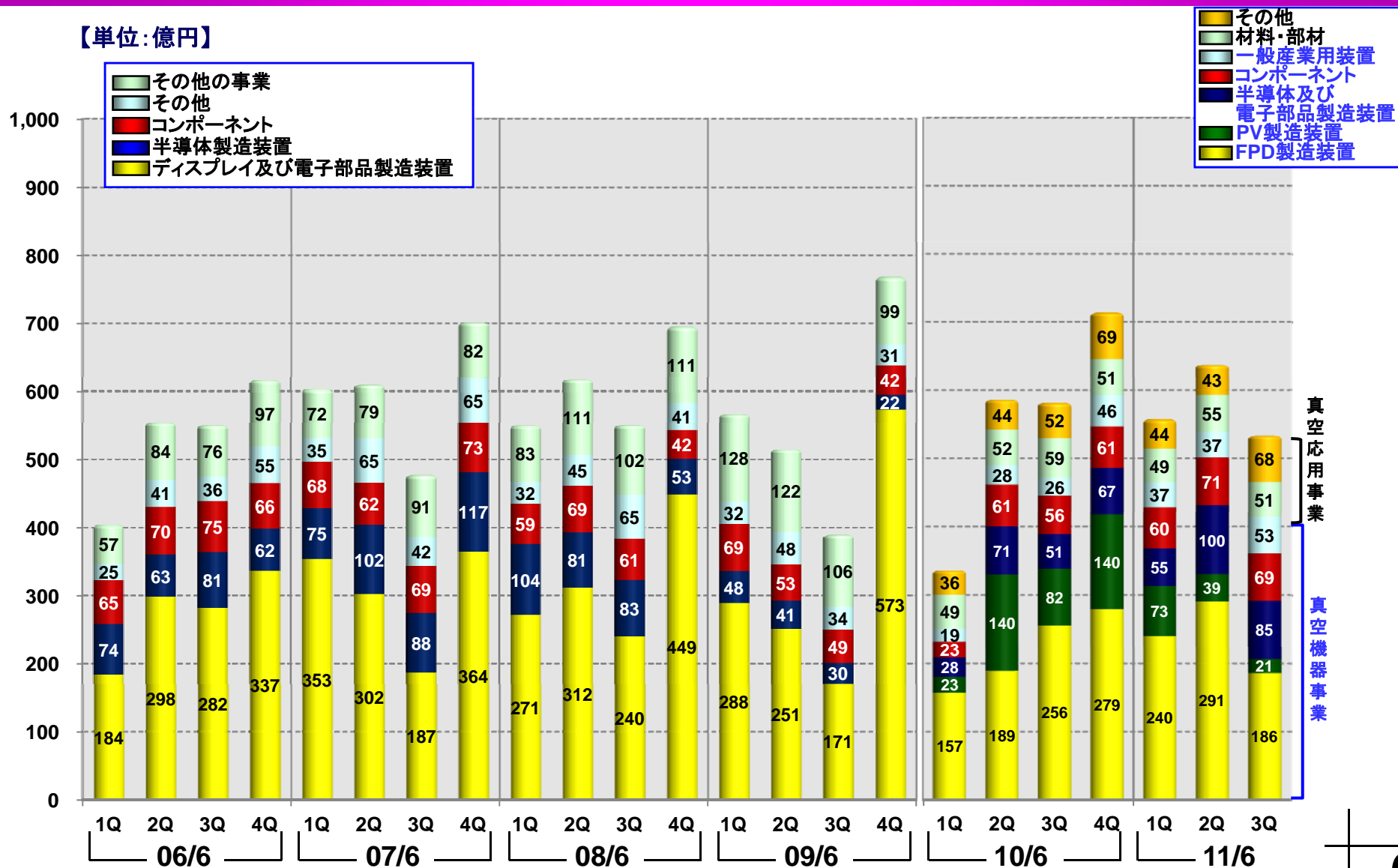
品目別受注高(四半期ベース)推移

【単位：億円】

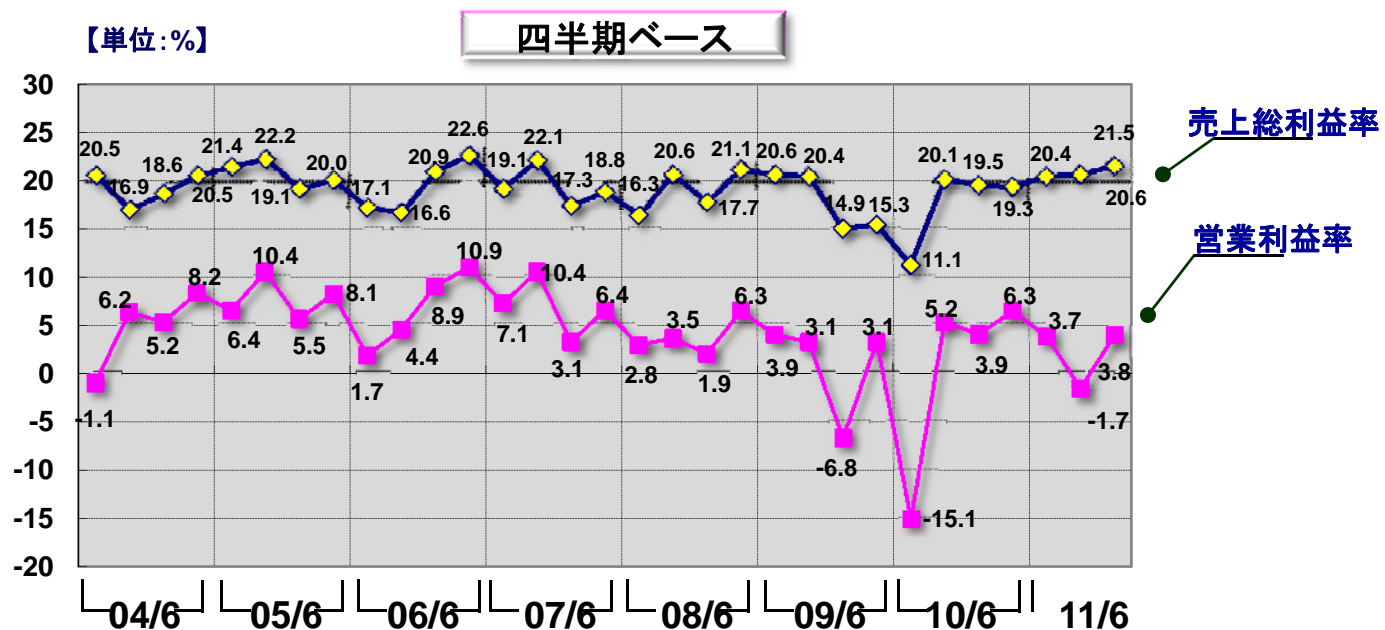


品目別売上高(四半期ベース)推移

【単位:億円】

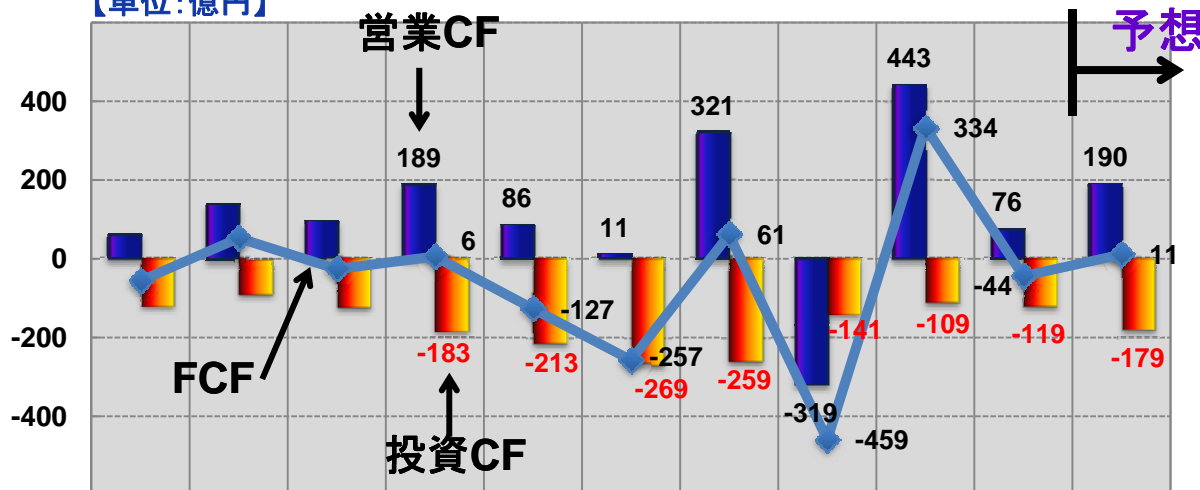


利益率の推移



キャッシュ・フローと有利子負債の実績・予想

【単位：億円】



2011/6期 3Q(実績)

FCF ▲44億円の要因

営業CF

- ・営業回収増加等による運転資金の改善により、2Qから89億円のプラス

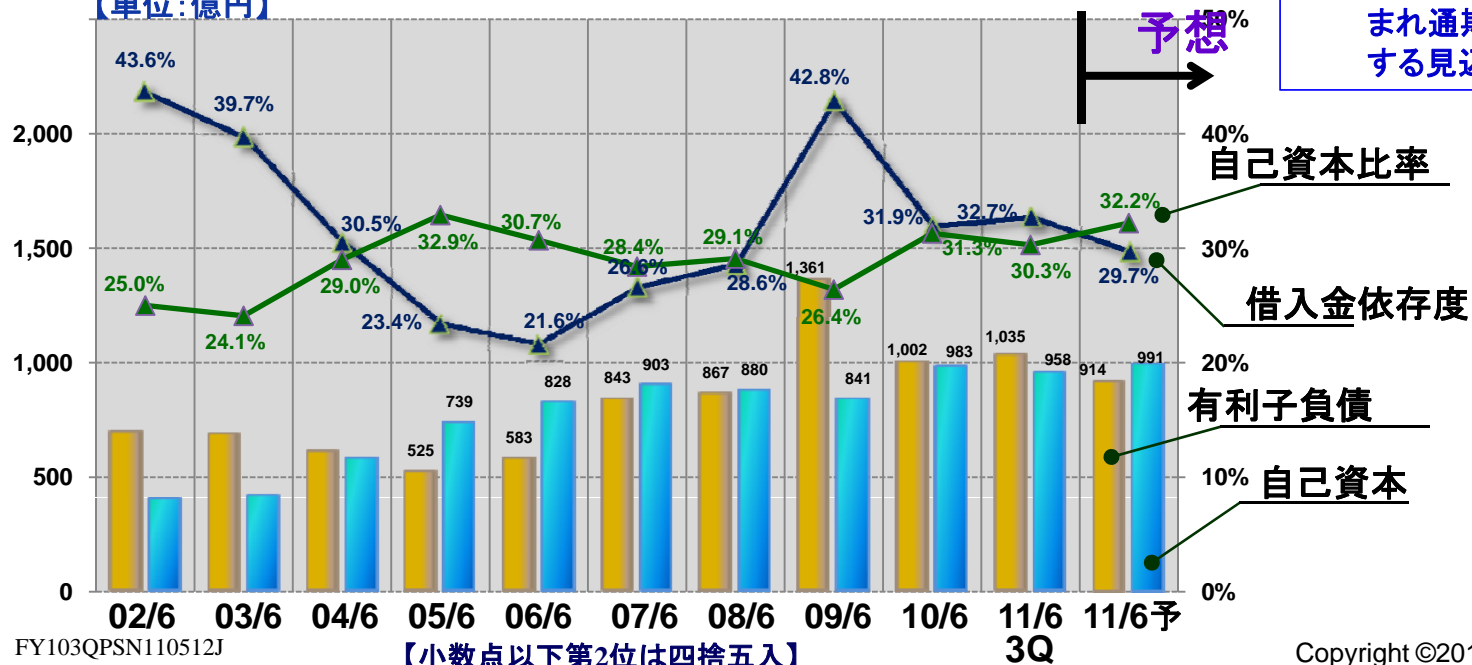
投資CF

- ・研究開発設備等への投資で41億円の支出増

2011/6期 4Q(予想)

更なる運転資金の改善が見込まれ通期計画値11億円を確保する見込み

【単位：億円】



FY103QPSN110512J

【小数点以下第2位は四捨五入】

3Q

Copyright ©2011,ULVAC,Inc.All right reserved

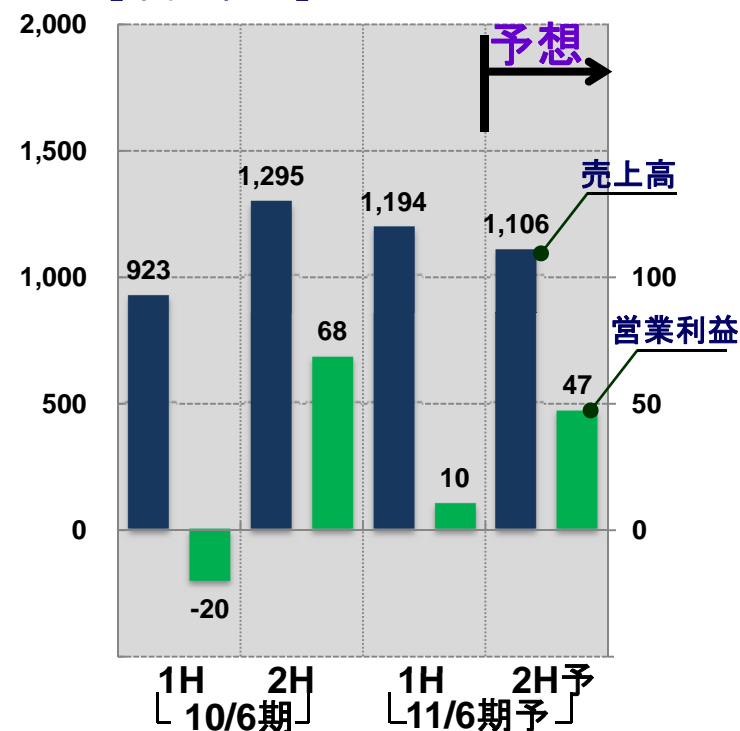
2011/6期業績予想

【単位:億円】

	2011/6期予想			2010/6期	前年同期比 (増減率)
	2Q(累計)実績	下期	通期		
受注高	1,023 (-14%)	1,277 (+24%)	2,300	2,217	4%
受注残高	910	1,081	1,081	1,083	
売上高	1,194 (+29%)	1,106 (-15%)	2,300	2,218	4%
売上総利益	245	244	489	406	20%
売上総利益率	20.5%	22.0%	21.3%	18.3%	
営業利益	10 (-)	47 (-31%)	57	48	19%
営業利益率	0.8%	4.3%	2.5%	2.2%	
経常利益	8 (-)	37 (-45%)	45	49	-9%
経常利益率	0.7%	3.3%	2.0%	2.2%	
当期純利益	-8 (-)	12 (-63%)	4	21	-81%

売上高と営業利益の推移

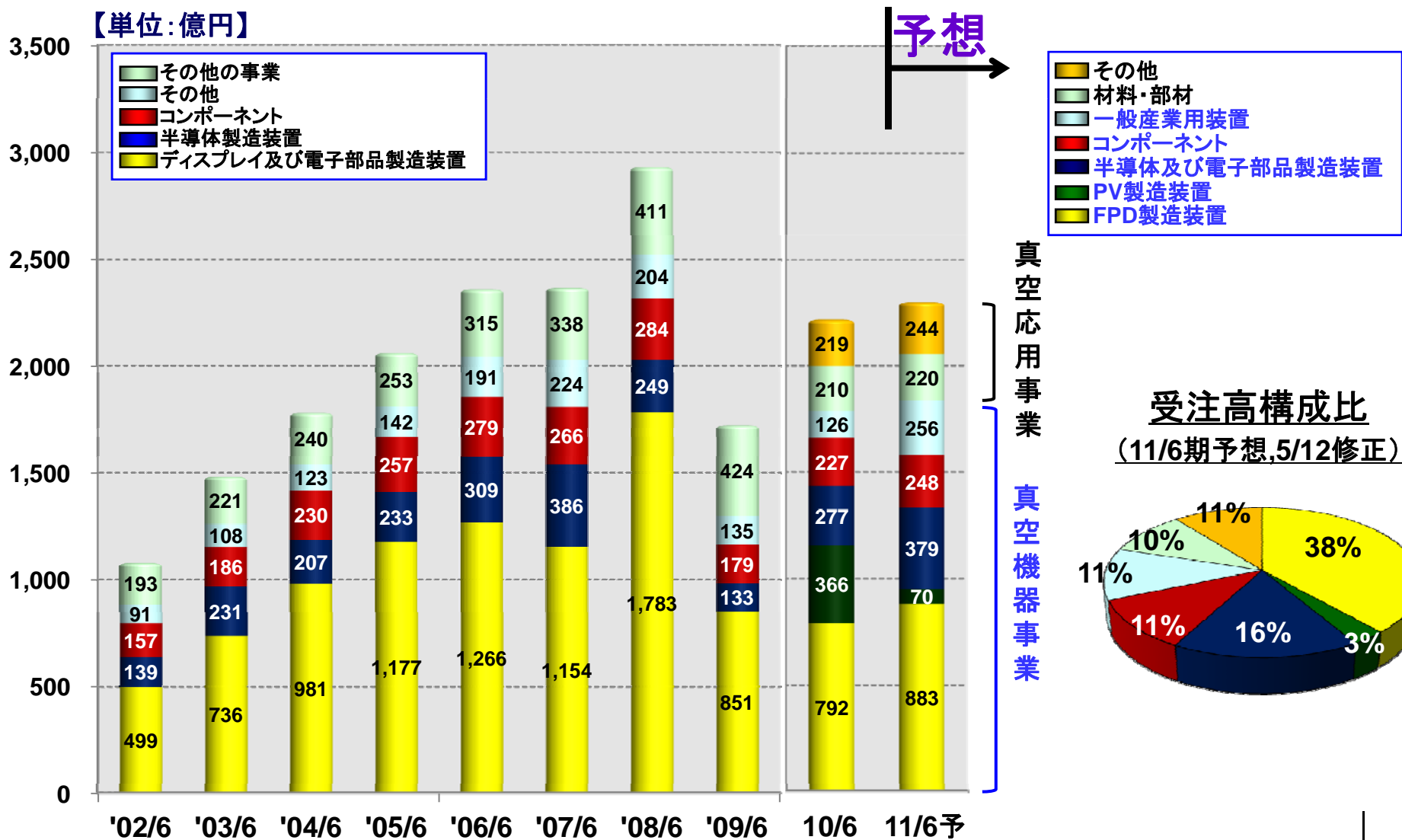
【単位:億円】



通期業績予想につきましては、現在精査中です。

【 ()内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

品目別受注高実績・予想



事業環境(東日本大震災による影響)

■ 大震災による環境の変化

- ▶ 日本の製造業の競争力低下
 - ◆ 部品の供給遅延での機会損失
(サプライチェーンの崩壊)
 - ◆ 放射能汚染に対する懸念
 - ◆ 電力不足による生産性の低下
- ▶ 原子力依存のエネルギー政策からの転換



海外顧客の
日本離れが
加速

■ 大震災の発生後のアルバックの対応

- ▶ 競争力低下を極小化する対策を緊急に実施
 - ◆ 愛知、鹿児島、韓国、台湾、中国への生産シフトを加速
 - ◆ 放射能対策には海外生産を推進
- ▶ 電力ピークカットは一部夜間シフトで克服
- ▶ 研究開発体制の海外シフトを検討
- ▶ 積極的な営業展開を更に推進
 - ◆ 日本離れを防ぎ、海外の競合に負けない体制、対応

経営環境(4Q以降)

アルバックをとりまく環境

- ▶ 震災の影響(受注環境、サプライチェーンなど)は未知数だが、足元の受注環境は堅調
- ▶ エネルギー政策の見直しが必至
 - ◆ 太陽電池など再生可能エネルギーへの期待大

既存分野

- ▶ 低温ポリシリコンなどの中小型ディスプレイは好調を維持
- ▶ 大型TV用液晶ディスプレイの投資は低迷が続く
- ▶ メモリ(NAND、DRAM)関連は、緩やかな拡大
- ▶ LEDは市場拡大が継続し、中国、台湾、日本で好調

新規分野

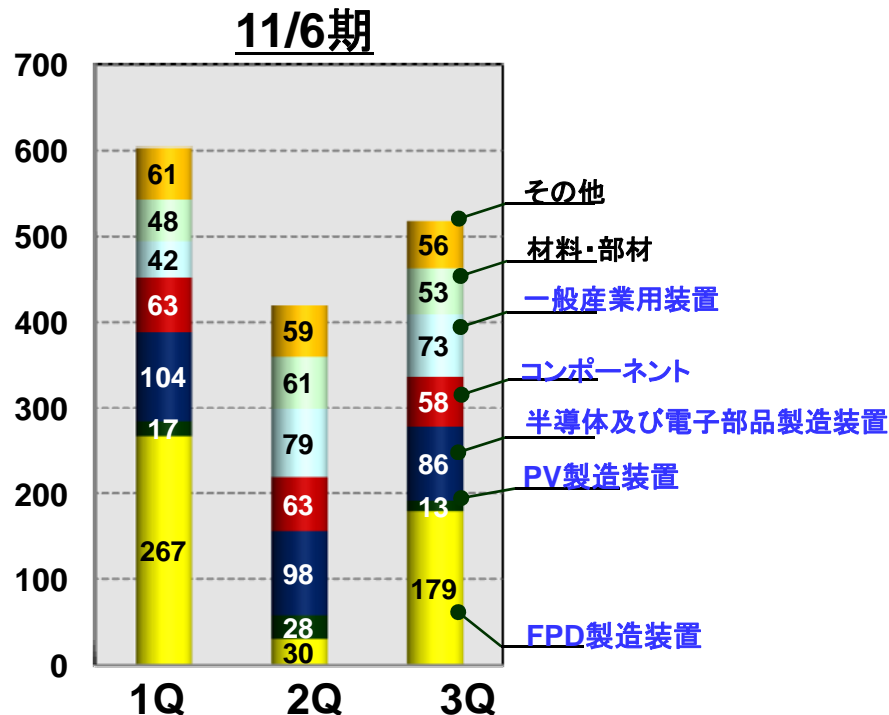
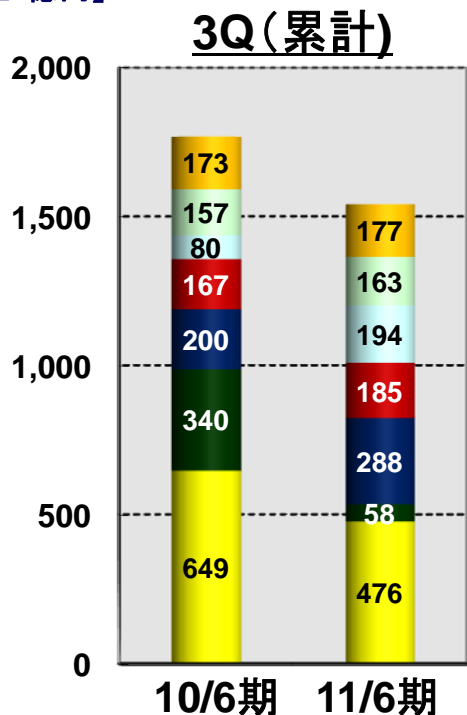
- ▶ 有機EL関連投資が更に拡大の様相。台湾、中国、日本などで次々と投資計画が浮上
- ▶ 太陽電池(結晶系、薄膜系)市場の主戦場は、中国、インドへ
- ▶ 特徴的な太陽電池の引合が増加(高効率太陽電池、ヘテロジャンクション、CISなど)
- ▶ パワー半導体は緩やかに拡大が続く(IGBTやインバーター需要が堅調)
- ▶ 酸化物半導体(IGZO)材料への期待高まる
- ▶ EV急速充電器ビジネスは受注拡大ステージへ

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック
ULVAC

品目別受注高の実績

添付資料

【単位：億円】



10/6期 3Q(累計)		
セグメント	受注高	構成比
真空機器事業	1,436	81.3%
FPD製造装置	649	36.7%
PV製造装置	340	19.2%
半導体及び電子部品製造装置	200	11.3%
コンポーネント	167	9.5%
一般産業用装置	80	4.5%
真空応用事業	330	18.7%
材料・部材	157	8.9%
その他	173	9.8%
合計	1,766	100.0%

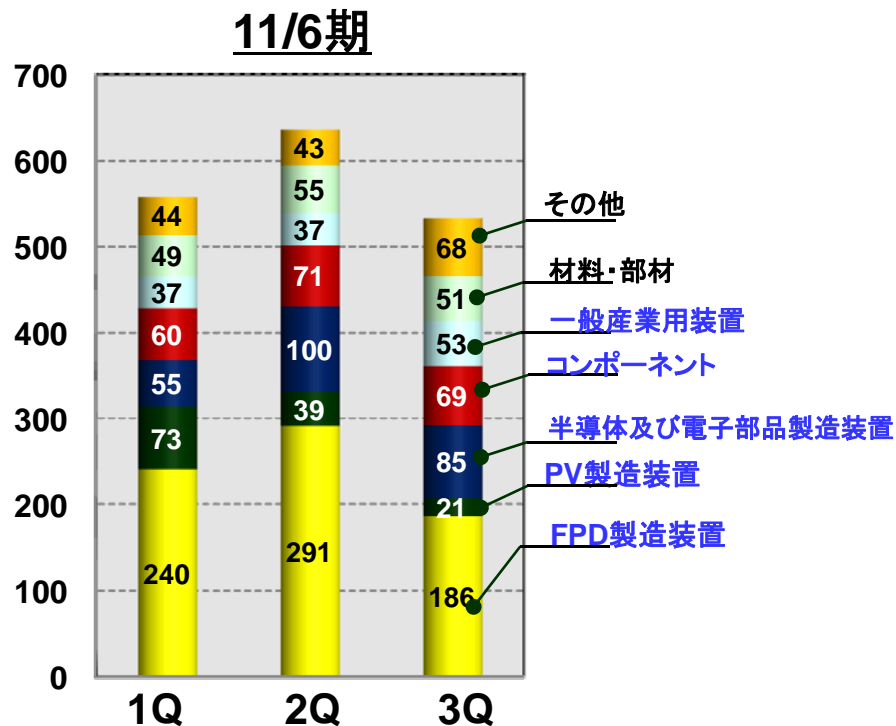
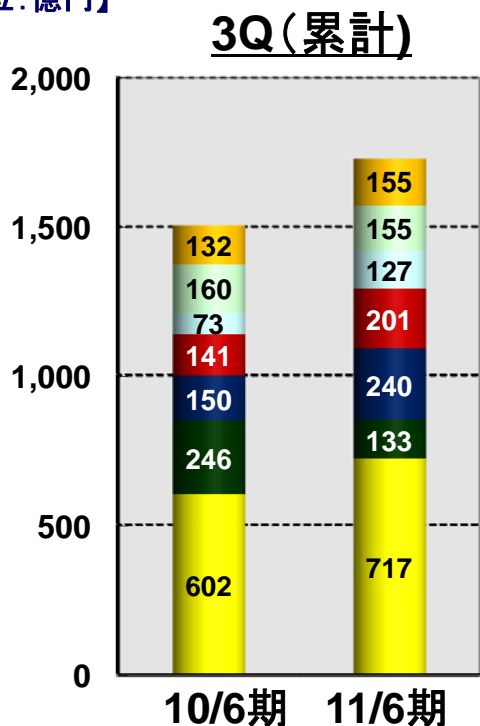
11/6期 3Q(累計)			前年同期比 (増減率)
セグメント	受注高	構成比	
真空機器事業	1,201	78.0%	-16.3%
FPD製造装置	476	30.9%	-26.6%
PV製造装置	58	3.7%	-83.0%
半導体及び電子部品製造装置	288	18.7%	44.1%
コンポーネント	185	12.0%	10.3%
一般産業用装置	194	12.6%	144.1%
真空応用事業	339	22.0%	2.8%
材料・部材	163	10.6%	3.5%
その他	177	11.5%	2.1%
合計	1,541	100.0%	-12.7%

セグメント	1Q		2Q		3Q	
	受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比
真空機器事業	494	81.8%	299	71.2%	409	78.9%
FPD製造装置	267	44.3%	30	7.2%	179	34.5%
PV製造装置	17	2.8%	28	6.6%	13	2.5%
半導体及び電子部品製造装置	104	17.2%	98	23.3%	86	16.7%
コンポーネント	63	10.5%	63	15.1%	58	11.2%
一般産業用装置	42	7.0%	79	18.9%	73	14.1%
真空応用事業	110	18.2%	121	28.8%	109	21.1%
材料・部材	48	8.0%	61	14.7%	53	10.3%
その他	61	10.2%	59	14.1%	56	10.8%
合計	604	100.0%	419	100.0%	518	100.0%

(注)
記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

品目別売上高の実績

【単位：億円】



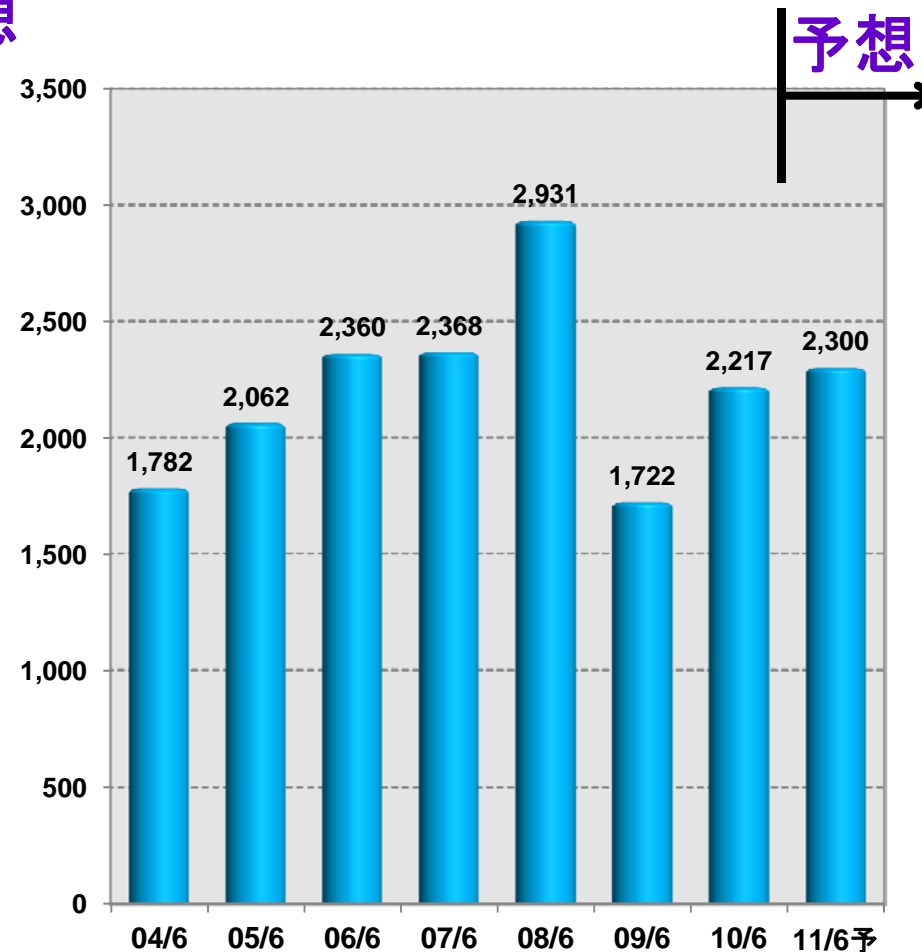
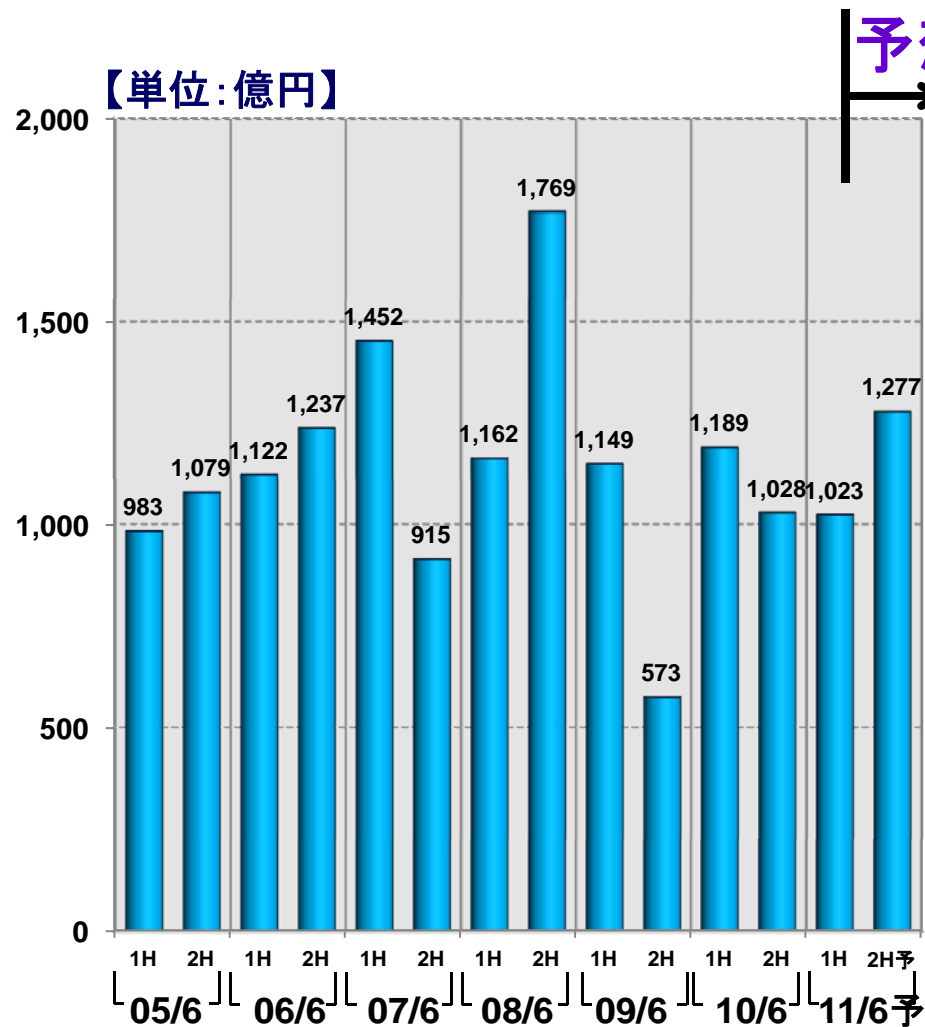
10/6期 3Q(累計)		
セグメント	売上高	構成比
真空機器事業	1,212	80.6%
FPD製造装置	602	40.0%
PV製造装置	246	16.3%
半導体及び電子部品製造装置	150	10.0%
コンポーネント	141	9.3%
一般産業用装置	73	4.9%
真空応用事業	292	19.4%
材料・部材	160	10.6%
その他	132	8.8%
合計	1,504	100.0%

11/6期 3Q(累計)				前年同期比 (増減率)
セグメント	売上高	構成比		
真空機器事業	1,418	82.1%		17%
FPD製造装置	717	41.5%		19%
PV製造装置	133	7.7%		-46%
半導体及び電子部品製造装置	240	13.9%		59%
コンポーネント	201	11.6%		43%
一般産業用装置	127	7.3%		73%
真空応用事業	310	17.9%		6%
材料・部材	155	9.0%		-3%
その他	155	8.9%		17%
合計	1,727	100.0%		15%

セグメント	1Q		2Q		3Q	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
真空機器事業	465	83.4%	539	84.6%	414	77.6%
FPD製造装置	240	43.1%	291	45.7%	186	34.9%
PV製造装置	73	13.1%	39	6.2%	21	3.9%
半導体及び電子部品製造装置	55	9.8%	100	15.7%	85	15.9%
コンポーネント	60	10.8%	71	11.2%	69	12.9%
一般産業用装置	37	6.6%	37	5.8%	53	9.9%
真空応用事業	93	16.6%	98	15.4%	119	22.4%
材料・部材	49	8.8%	55	8.7%	51	9.6%
その他	44	7.8%	43	6.7%	68	12.8%
合計	557	100.0%	636	100.0%	533	100.0%

(注)
記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

受注高推移・予想



【小数点以下は四捨五入】

品目別受注高推移・予想

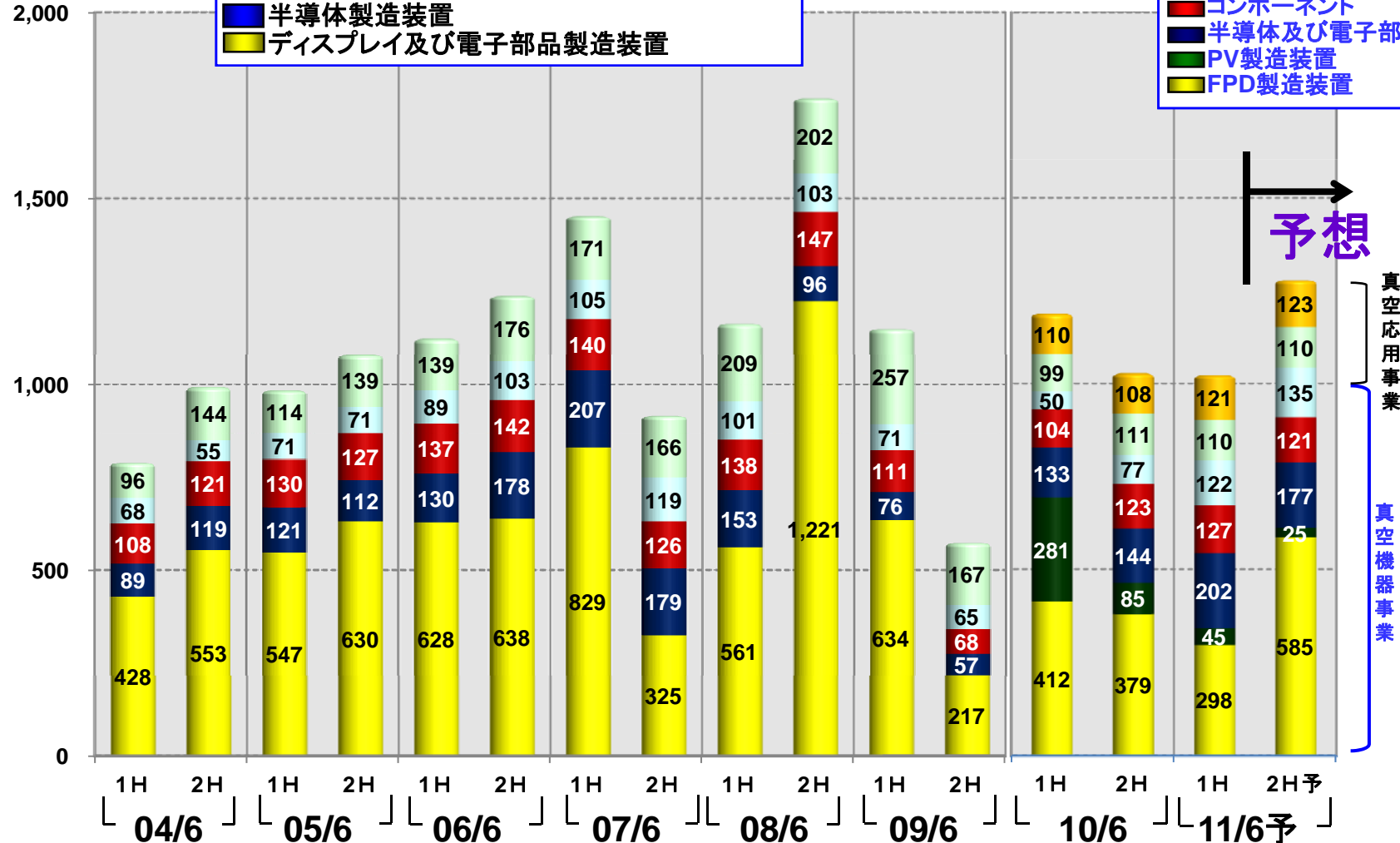
添付資料

【単位：億円】

2,000

- その他の事業
- その他
- コンポーネント
- 半導体製造装置
- ディスプレイ及び電子部品製造装置

- その他
- 材料・部材
- 一般産業用装置
- コンポーネント
- 半導体及び電子部品製造装置
- PV製造装置
- FPD製造装置



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。
2010年6月期よりセグメント及び品目の名称が変更されています。】

ULVAC

